



世界へ発信！
Jomon Prehistoric Sites
in Northern Japan



2つのユネスコ遺産

■問合せ 世界ジオパーク・縄文世界遺産推進室(☎ 82-3663)

「北海道・北東北の縄文遺跡群」関連資産紹介

北海道最大級の 鶩ノ木遺跡 (森町)

鶩ノ木遺跡は噴火湾をはさんで洞爺湖町と対岸の森町にある、北海道で最大規模のストーンサークル（環状列石）です。世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の【関連資産】として、縄文遺跡群の理解を深めるうえで欠かせない存在となっています。

このストーンサークルは縄文時代後期、約4,000年前に作されました。標高約70mの丘の上に二重の輪をめぐらせ、中心部にも石を楕円形に並べています。最も外側の輪の直径は約37m。平均30～40cmの石が602個使われています。

これらの石は約1kmも離れた桂川河口から丘の上まで運ばれたと考えられています。ストーンサークルの周辺には同じ時代のお墓も作られており、この丘が縄文の人たちにとって特別で神聖な場所だったことがうかがえます。



ストーンサークル



細長い石が多く使われている



遺跡からは駒ヶ岳を望むことができる

鶩ノ木遺跡は高速道路建設のための発掘調査で発見されました。駒ヶ岳の火山灰が厚く積もった下から、道内最大規模のストーンサークルが姿を現したのです。

最初の計画では丘を切り崩して高速道路を通す予定でしたが、縄文時代そのままの姿を残す遺跡の重要性から保存が決定し、トンネルを掘る方法へ変更されました。しかも、工事の振動で石が動いてしまわないよう、一部は手作業で掘り進めたとのことです。遺跡を保存するために、最善が尽くされました。

森町方面を高速道路でドライブする際には、「鶩ノ木遺跡トンネル」にぜひご注目ください！



開催期間中のお好きな時間にいつでも縄文体験ができます。皆さまのお越しをお待ちしています！

- ▶日 程 2月14日(土) アンギン編みコースター作り
3月14日(土) まが玉作り
- ▶時 間 10:00～14:00 (体験は30分～1時間程度)
- ▶会 場 入江・高砂貝塚館
- ▶体験料 300円(申込み不要)